

西荒瀬保育園 nishiarase nursery school **みどりの保育園**

令和2年度



社会福祉法人西荒瀬協会 西荒瀬保育園では平成20年度より、園児の自然に対する関心を高め、感性や知性の向上、心が豊かになることを目的とし、年間を通して森林環境教育『みどりの保育園』事業を行っています。

平成22年度には保育園のまわりにある豊かな自然環境を活用しようということで、庄内森林管理署と「遊々の森」の協定を結び「しんちゃん森」を設定しました。森林を整備し、子どもたちが感動し、体験しやすい環境を作っています。子ども達は雄大なクロマツ林の中で日々自然と触れ合い遊んでいます。

活動内容

5月 しんちゃん森整備



保育園裏手の国有林の「しんちゃん森」を整備しました。

5月 きのこの駒打ち



しいたけ、なめこの菌を木槌で駒打ちを行いしいたけを収穫しました。

5月 クロマツ探検隊1



双眼鏡でサギのコロニーを観察クロマツ林の大切さを学びました。

6月 クロマツ探検隊2



万里の松原を散策し、北港緑地展望台では砂防林を見てきました。

9月 森で歌おう



森で日和山楽団のコンサートを行う予定でしたが雨の為にホールと一緒に「クロマツの歌」など歌いました。

10月 森づくり隊



森づくり隊になって庄内森林管理署の方と一緒に、クロマツの苗木140本を親子で植樹しました。

10月 みどりの里親活動



10月8日 鳥海イヌワシみらい館を見学後に白壁洋子さんと鳥海山の広葉樹林を散策し、沢山の森の恵みを見つけて楽しく過ごしました。「鳥海山ありがとう！」と色々な木の実などを拾ってきました。



10月22日 伐採木で作ったプランターに拾ってきたどんぐりなど5種類の種を植えました。

活動の感想

みどりの保育園は森や自然とのふれあい活動として地域の事業所や保護者の方々と一緒に年間13回行っています。子ども達は自然とふれあうことで元気に駆け回ることができる「健康な身体」又、しいたけの収穫や小鳥・リスとの出会い等で「自然の恵みに感謝する心」が育っています。今年は親子で植樹した体験からも、みんなで故郷の自然や生き物を大切にしていこうという思いが育まれることを願って森や自然とのふれあい活動を進めていきたいと思います。